

オキドキニュース 六月号



二十四節季

芒種 (ぼうしゆ)

六月五日

雑穀の種蒔きをする時期。
田植への時期に入る。

夏至 (げし)

六月二十一日

昼間の時間が一番長くなる。

おやつ喫茶

五月九日(土曜日)、食堂にて入所のご利用者様を対象に「おやつ喫茶」を催しました。ふだん召し上がる「おやつ」とは一味違い、職員もウエイター、ウエイトレスの装いに着替え、「喫茶オキドキ」がオープンしました。

あらかじめ、皆様にはメニューの中から好きな「おやつ」・「飲み物」を選んで頂き、職員がご注文の品を席まで運び召し上がって頂きました。外出することの少ないご利用者の皆様には、多少なりとも喫茶店の雰囲気を感じてもらおうことができたようで、楽しい催しとなりました。



じゃがバター

あじさいゼリー
マンゴーソース

「カビ」はなぜ発生するの？

これからの季節。気温、湿度が上昇しますと「カビ」が発生しやすくなります。「カビ」はどうして増えるのかご紹介します。

「カビ」の胞子は空気中を浮遊していて、この胞子が壁をはじめ、あらゆるものに付着します。カビの生育する条件を満たしていれば数時間で発芽が始まります。「カビ」は温度二十五度〜三十度、湿度が十%以上で栄養分があるところによく育ちます。しかも風通しが悪いとよく増えます。

梅雨時は湿度が高いので冬の5〜6倍にも増え、空気中を沢山の「カビ」の胞子が浮遊しています。まさに梅雨時期は「カビシーズン」です。

カビ対策

- 湿気を減らす
- 掃除をしてカビのエサになる汚れを減らす
- 風通しを良くして、空気の流れを作り換気する



徳島県「当地グルメ」

「金時豆入りかきませ」

徳島県では、ちらし寿司のことを「かきませ」と言います。徳島県はお米の自給が低い県であったため、お祭りやお節句などお祝いをする日には、それぞれの地域でとれる旬の食材をたくさん入れ、嵩を増やして作っていたようです。また、「金時豆」が入っているのが徳島県の特徴です。昔は砂糖など甘い物が貴重だったので、甘い「金時豆」を入れることが「馳走になったよう」です。
オキドキでも昼食に提供いたしますので、ご賞味下さい。

6月17日 昼食にご提供!



写真はイメージです。お出しするものとは異なりますのでご了承下さい。

冬布団から 夏布団に変わります

季節の流れは早く、汗ばむ季節となりました。冬布団から夏布団への入替を、下記の日程で行います。ご協力をお願いします。

3階居室 6月 8日(水)

2階居室 6月15日(水)



衣替えの季節です！

- ① 今夏も冷房温度は、原則28℃に設定させて頂きます(但し、外気温によっては28℃以下に変更致します)。
- ② 薄手の衣類との交換をお願いします。
- ③ 居室は限られた居住空間の中で、お互いに利用しておりますので、「ご使用にならない衣類」「クラブ作品」などは、この機会にお持ち帰り頂きますようお願いいたします。

尚、衣類をお持ち頂く際には、

必ずお名前をお書きください。

あきる野市偉人「岸忠左衛門」

明治元年、北多摩郡大和市(現在の東京都東大和市)に生まれ、叔母の嫁ぎ先であった五日市町の岸家の家督を継ぎ、忠左衛門を襲名する。岸家は炭問屋のかたわら素麺製造を家業としていた。

明治三十二年に西多摩郡会議員に選ばれ、政治的経験も培われていた。この会議のため、山道をわらじ履きで五日市から青梅まで通っていた。当時の交通手段は、「馬車」か「人力車」であったが、会議など度々訪れる青梅には鉄道や電気が引かれているのを見て、岸忠左衛門は五日市にも欲しいと痛感した。

その後、秋川流域の有力者の協力を得て、秋川に水力電気会社を設立、大正五年に電灯をともすと共に、五日市に水道の給水を開始した。

大正十年、「五日市鉄道株式会社」を設立し、大正十四年に五日市と拜島間を開通させ、郷土の近代化に尽力した。その功績を称え阿伎留神社に「岸忠左衛門翁像」が設置されている。

「介護保険負担限度額認定証」の更新

現在、「介護保険負担限度額認定証」の発行をされている方の有効期限は七月三十一日です。

- ① 昨年の所得額等により、住所地の市区町村から「介護保険負担額の更新手続き」の案内が郵送されましたら、お早めに手続きをお願いします。
- ② 新しい「介護保険負担限度額認定証」が届きましたら、必ず受付窓口にご提出ください。

「家族・介護者の皆様へ(お願い)」

これからの時期は食中毒が発生しやすい季節となります。当施設では、「利用者様の「健康と衛生面」の管理のため、食べ物の持ち込みは「遠慮頂いております」。

止むを得ず、持ち込まれる場合には、必ず職員に「相談下さい」。

職員が知らないまま放置されますと管理できずに、「食中毒発生」や「誤嚥・誤飲」による窒息の原因となります。

尚、同部屋内のご利用者様に飲食物をお渡しする事も「遠慮下さい」。

